

「おさゴールド」 早期摘らいによる大果生産技術

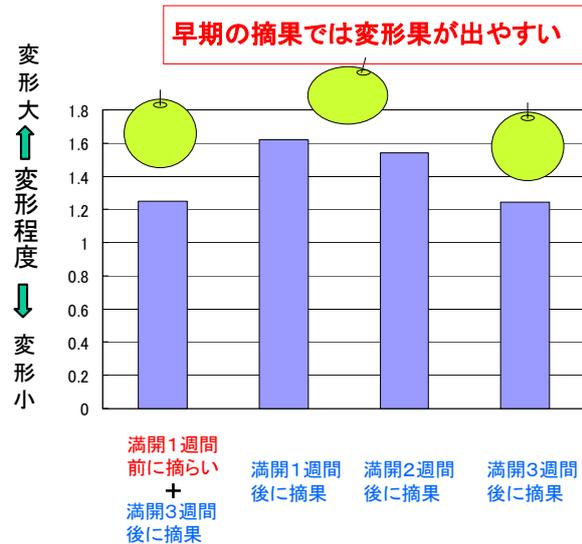
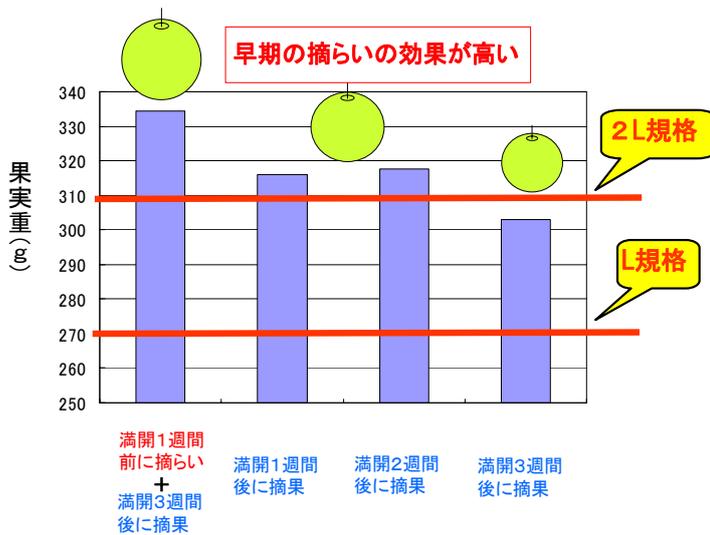
【背景・目的・成果】「二十世紀」梨の後継品種である「おさゴールド」は黒斑病に強いなどの優れた特徴を持っていますが、果実が小さくなりやすいことが欠点でした。そこで、「おさゴールド」の大玉で変形の少ない着果管理法を開発しました。

「おさゴールド」の特徴

- ・黒斑病に強い
- ・人工交配が不要
- ・外観は二十世紀
- ・二十世紀の優れた肉質と食味を引き継ぐ



結実の優れる「おさゴールド」であるが、果実が小さくなる傾向がある。



大玉で変形の少ない「おさゴールド」の着果管理の方法

① 満開1週間前ごろまでに摘らい(1花そうに3花)



② 満開2~3週間後に摘果



着果管理作業が2度に分かれるが、摘らいは手で行うため能率が高く、またハサミを使う摘果は扱う果数が少ないため能率的であり、労働時間はほぼ同一です。

【技術の活用】「おさゴールド」の欠点を克服できたことにより、黒斑病に弱い「二十世紀」からの品種更新を推進し、省力で環境に優しい梨生産を推進します。